

朝日

小学生新聞

2011年 6月2日 木曜日
(平成23年)

朝日学生新聞社 〒106-8473 東京都中央区新富1-3-4
電話 03(3545)4222 (編集) 03(3545)5225 (編集)
03(3545)5223 (印刷) 03(3545)5227 (販売)

「黄色い牙」をはじめ歴史小説や推理小説など幅広い作品で知られる作家、志茂田景樹さんには、もう一つの顔があります。全国を駆けまわって、子どもたちに自分の本を届ける「よい子に読み聞かせ隊」の隊長です。「一九九九年の結成以来、全国で行った公演回数は千四百五十回にのぼります。読者の心を揺るがせる理由を聞きました。(聞き手・島田 真子)

「よい子に読み聞かせ隊」隊長・作家の志茂田景樹さん

「生きるすばらしさ」伝わるように

なぜ、読者聞かせを始めたのですか？
余の半生でこの作業を続けている。僕自身、十二年前、震災中、阪神で亡くなったので、絵本を通じて子どもたちに生きるすばらしさを伝えることが、本を共有できれば心地よい記憶になる

本を共有できれば心地よい記憶になる

学ぶ育つ ははたく

志茂田さん、読者の心を揺るがせた「黄色い牙」は、実は毎朝日本海をすらすら読んでいた。その時、読者聞かせをしようと思った。——どんな活動ですか？

読んで、生んだ本を子どもに届けてあげたい。一人ひとりが、一人ひとりが、本の中で生きていく。——なぜ、読者聞かせを始めたのですか？

読者聞かせは、安んじ、癒やしながら生きていく。——なぜ、読者聞かせを始めたのですか？

読者聞かせは、安んじ、癒やしながら生きていく。——なぜ、読者聞かせを始めたのですか？

読者聞かせは、安んじ、癒やしながら生きていく。——なぜ、読者聞かせを始めたのですか？



「よい子のみんな、元気がいちばん！ 今がいちばん！」。メッセージを送る志茂田景樹さん

静岡県出身。1980年に『黄色い牙』で童木真実賞。99年8月、「よい子に読み聞かせ隊」を結成し、自作の著作や絵本を贈る。さし絵も描く。被災した子どもたちの慰問や、不登校の子どもの支援活動も行う。著作『蒼翼の親子たち』を映画化した『学校をこくろろ』が全国で順次公開中。



五月十日、東京・上野公園で開かれた「よい子の読者聞かせ隊」のイベントで、志茂田景樹さんが子どもたちに絵本を読み聞かせる様子

五月十八日、三年ぶりに再開した大船渡市の読者聞かせ隊で、志茂田景樹さんが子どもたちに絵本を読み聞かせる様子

「黄色い牙」は、実は毎朝日本海をすらすら読んでいた。その時、読者聞かせをしようと思った。——どんな活動ですか？